

環境白書の刊行にあたって

広島県知事 湯崎英彦



地球温暖化をはじめとする環境問題は、現在、私たちが直面する喫緊の課題となっています。

このため、広島県では、環境基本計画において、「環境にやさしい広島づくりと次代への継承」を基本理念として掲げ、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会を築き上げるため、低炭素社会や循環型社会の構築、地域環境や生物多様性の保全を推進するための取組を推進しているところです。

また、本県では、新たな活力を創出するため、「人づくり」「新たな経済成長」「安心な暮らしづくり」「豊かな地域づくり」へ重点的に挑戦していくこととしています。環境問題はこれら全般に係ることであり、継続的に、また変化に即応して取り組む必要があります。

一方、環境問題の解決のためには、県民、事業者、行政、それぞれが環境を意識し、主体的に行動を起こしていくことが必要です。県では、今年6月から毎月第一土曜日を「ひろしま環境の日」として設定し、エコ生活の実践を繰り返し呼びかけることとしています。

この白書は、本県における環境の現状や課題及びそれに対する取組などを掲載しています。

本書を通じて、県民の皆様が、本県の環境についての理解を深めていただくとともに、皆様の環境保全活動の一助になることを期待しております。

平成22(2010)年9月



「広島発・ストップ地球温暖化 県民運動」ロゴマーク